

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年7月3日
【発行者名】	フロンティア不動産投資法人
【代表者の役職氏名】	執行役員 亀井 浩彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座六丁目8番7号
【事務連絡者氏名】	三井不動産フロンティアリートマネジメント株式会社 取締役財務部長 牧野 辰
【電話番号】	03-3289-0440
【届出の対象とした募集 内国投資証券に係る投 資法人の名称】	フロンティア不動産投資法人
【届出の対象とした募集 内国投資証券の形態及 び金額】	形態：投資証券 発行価額の総額：その他の者に対する割当 1,527,660,000円
安定操作に関する事項	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成24年6月25日提出の有価証券届出書の記載事項のうち、平成24年7月3日開催の役員会において発行価格等が決定されましたので、これらに関連する事項を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものです。

2 【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 内国投資証券（投資法人債券を除く。）

- (3) 発行数
- (4) 発行価額の総額
- (5) 発行価格
- (8) 申込期間
- (11) 払込期日
- (14) 手取金の使途

第4 募集又は売出しに関する特別記載事項

オーバーアロットメントによる売出し等について

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部【証券情報】

第1【内国投資証券（投資法人債券を除く。）】

（3）【発行数】

<訂正前>

（前略）

（注2） 割当予定先の概要及び本投資法人と割当予定先との関係等は、以下のとおりです。

割当予定先の氏名又は名称		S M B C 日興証券株式会社	
割当口数		2,500口	
払込金額		1,494,000,000円(注)	
割当予定先の内容	本店所在地		東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
	代表者の氏名		代表取締役社長 渡邊 英二
	資本金の額		10,000百万円
	事業の内容		金融商品取引業
	大株主		株式会社三井住友銀行 100%
本投資法人との関係	出資関係	本投資法人が保有している割当予定先の株式の数	該当事項はありません。
		割当予定先が保有している本投資法人の投資口の数 (平成24年6月15日現在)	90口
	取引関係		一般募集（後記「第4 募集又は売出しに関する特別記載事項 オーバーアロットメントによる売出し等について」に定義されます。以下同じです。）の共同主幹事会社です。
	人的関係		該当事項はありません。
本投資口の保有に関する事項			該当事項はありません。

（注） 払込金額は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

（前略）

（注2） 割当予定先の概要及び本投資法人と割当予定先との関係等は、以下のとおりです。

割当予定先の氏名又は名称		S M B C 日興証券株式会社	
割当口数		2,500口	
払込金額		1,527,660,000円	
割当予定先の内容	本店所在地	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	
	代表者の氏名	代表取締役社長 渡邊 英二	
	資本金の額	10,000百万円	
	事業の内容	金融商品取引業	
大株主		株式会社三井住友銀行 100%	
本投資法人との関係	出資関係	本投資法人が保有している割当予定先の株式の数	該当事項はありません。
		割当予定先が保有している本投資法人の投資口の数 (平成24年6月15日現在)	90口
	取引関係	一般募集（後記「第4 募集又は売出しに関する特別記載事項 オーバーアロットメントによる売出し等について」に定義されます。以下同じです。）の共同主幹事会社です。	
	人的関係	該当事項はありません。	
本投資口の保有に関する事項		該当事項はありません。	

(注)の全文削除

(4) 【発行価額の総額】

<訂正前>

1,494,000,000円

(注) 上記の発行価額の総額は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

1,527,660,000円

(注)の全文削除

(5) 【発行価格】

<訂正前>

未定

(注) 発行価格は、平成24年7月3日（火）から平成24年7月6日（金）までのいずれかの日（以下「発行価格等決定日」といいます。）に一般募集において決定される発行価額と同一の価格とします。

<訂正後>

611,064円

(注)の全文削除

(8) 【申込期間】

<訂正前>

平成24年8月13日（月）

(注) 申込期間については、上記の通り内定していますが、発行価格等決定日において正式に決定します。なお、上記申込期間については、一般募集における申込期間の繰り上がりに応じて繰り上げられることがあります。申込期間は一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から起算して30日目の日の2営業日後の日であり、したがって、申込期間が最も繰り上がった場合には、「平成24年8月7日（火）」となることとなりますのでご注意ください。

<訂正後>

平成24年8月7日（火）

(注)の全文削除

(11) 【払込期日】

<訂正前>

平成24年8月14日（火）

(注) 払込期日については、上記の通り内定していますが、発行価格等決定日において正式に決定します。なお、上記払込期日については、一般募集における申込期間の繰り上がりに応じて繰り上げられることがあります。払込期日は一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から起算して30日目の日の3営業日後の日であり、したがって、払込期日が最も繰り上がった場合には、「平成24年8月8日（水）」となることとなりますのでご注意ください。

<訂正後>

平成24年8月8日（水）

(注)の全文削除

(14) 【手取金の使途】

<訂正前>

本第三者割当における手取金上限1,494,000,000円については、借入金の返済に充当します。

(注) 上記各手取金は、本書の日付現在における見込額です。

<訂正後>

本第三者割当における手取金上限1,527,660,000円については、借入金の返済に充当します。

(注)の全文削除

第4 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

オーバーアロットメントによる売出し等について

<訂正前>

(1) 本投資法人は、平成24年6月25日（月）開催の本投資法人の役員会において、本第三者割当とは別に、本投資口31,000口の一般募集（以下「一般募集」といいます。）を決議していますが、一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、一般募集とは別に、SMBC日興証券株式会社が本投資法人の投資主である三井不動産株式会社（以下「三井不動産」といいます。）から2,500口を上限として借り入れる本投資口の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出数は上限の売出数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。本第三者割当は、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMBC日

興証券株式会社が三井不動産から借り入れた本投資口（以下「借入投資口」といいます。）の返還に必要な本投資口を取得させるために行われます。

また、SMB C日興証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から本第三者割当の払込期日の3営業日前の日までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。）、借入投資口の返還を目的として、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け（以下「シンジケートカバー取引」といいます。）を行う場合があります。SMB C日興証券株式会社がシンジケートカバー取引により買い付けたすべての本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、SMB C日興証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

（後略）

<訂正後>

- (1) 本投資法人は、平成24年6月25日（月）開催の本投資法人の役員会において、本第三者割当とは別に、本投資口31,000口の一般募集（以下「一般募集」といいます。）を決議していますが、一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した結果、一般募集とは別に、SMB C日興証券株式会社が本投資法人の投資主である三井不動産株式会社（以下「三井不動産」といいます。）から借り入れる本投資口2,500口の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行います。本第三者割当は、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社が三井不動産から借り入れた本投資口（以下「借入投資口」といいます。）の返還に必要な本投資口を取得させるために行われます。

また、SMB C日興証券株式会社は、平成24年7月6日（金）から平成24年8月3日（金）までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。）、借入投資口の返還を目的として、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け（以下「シンジケートカバー取引」といいます。）を行う場合があります。SMB C日興証券株式会社がシンジケートカバー取引により買い付けたすべての本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、SMB C日興証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

（後略）